

WindowsでもLinuxでも選んで使えるサーバー専用ウイルス・スパイウェア対策製品
 「ESET File Security for Linux / Windows Server」
 2013年2月1日(金)より出荷開始

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:浅田和則、以下キヤノンITS)は、Windowsサーバー用プログラム、Linuxサーバー用プログラムを選んで利用できるマルチプラットフォーム対応のサーバー専用ウイルス・スパイウェア対策製品「ESET File Security for Linux / Windows Server」を2013年2月1日(金)より、出荷開始します。



ESET File Security for Linux / Windows Server

■ 新たにLinuxサーバーに対応、サーバー専用マルチプラットフォーム製品

ESET File Security for Linux / Windows Serverは、Linuxサーバー用プログラムとWindowsサーバー用プログラムを選択して利用可能なマルチプラットフォーム対応のウイルス・スパイウェア対策製品です。

本製品で新たに提供を開始するLinuxサーバー用プログラム「ESET File Security for Linux」は、これまでのESETセキュリティ ソフトウェア シリーズと同様に、高性能なヒューリスティック機能を持つThreatSenseテクノロジーを搭載しています。そのため、新種のマルウェアも高い確率で検出します。また、Windowsサーバー用プログラム「ESET File Security for Microsoft Windows Server」は、新たにWindows Server 2012 Essentialsに対応するなど、幅広い環境で利用が可能です。

<価格表>

製品名	希望小売価格(税別)
ESET File Security for Linux / Windows Server 新規	20,000円
ESET File Security for Linux / Windows Server 更新	10,000円

【補足事項】

- ・ 上記は、1ライセンスあたり1年間の希望小売価格(税別)です。
- ・ 製品は、1年間のサポートならびにプログラムとウイルス定義データベースのアップデート権利が付属しています。
- ・ 本製品は、個人のお客さまもご購入いただけます。
- ・ 複数本必要な場合は、インストール台数分、お求めください。

<主な機能>

■ 基本機能

	ESET File Security for Microsoft Windows Server	ESET File Security for Linux
手動検査(オンデマンド検査)	○	○
常駐検査(オンアクセス検査)	○	○※1
感染ファイルの自動駆除	○	○
スケジュールスキャン	○	○

※1 Sambaなど、標準Cライブラリーを使用するアプリケーションに対して常駐検査を行います。

■ サーバー保護機能※2

インストールした環境(OSやインストールされているアプリケーション)を自動的に認識し、認識したアプリケーションについて、その環境に最適な除外設定を追加します。

※2 Linuxサーバー用プログラムESET File Security for Linuxは対応していません。

■ コマンドラインインターフェース機能

コマンドラインインターフェースからESET File Securityの各設定を変更することができます。

<動作環境>

■ ESET File Security for Microsoft Windows Server(Windowsサーバー用プログラム)

対応OS	CPU※3		メモリー	ハードディスク
	32bit	64bit		
Windows Server 2012 Essentials	-	○	2GB以上	200MB以上の 空き容量
Windows Small Business Server 2011 Essentials	-	○	2GB以上	
Windows Server 2008 Standard Edition / Enterprise Edition	○	○	512MB以上	
Windows Server 2008 R2 Standard Edition / R2 Enterprise Edition	-	○	512MB以上	
Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup Edition	-	○		
Windows Server 2003 Standard Edition / R2 Standard Edition (64bit含む)	○	○	256MB以上	
Windows Server 2003 Enterprise Edition / R2 Enterprise Edition (64bit含む)	○	○	128MB以上	
Windows 2000 Server / Advanced Server	○	-		

※3 OSが推奨するシステム要件を満たす必要があります。

【必須事項】

- ・ ESET File Security for Microsoft Windows Serverは、日本語版のOS対応に限ります。
- ・ Super VGA(800×600)以上(推奨1024×768以上)、Microsoft Internet Explorer 6.0(Service Pack1以降)

■ ESET File Security for Linux(Linuxサーバー用プログラム) ※4

対応OS	CPU※5		メモリー	ハードディスク
	32bit	64bit		
Red Hat Enterprise Linux 5 / 6	○	○	256MB以上	250MB以上の 空き容量
SUSE Linux Enterprise 10 / 11 SP1まで	○	○	256MB以上	
CentOS 5 / 6	○	○	256MB以上	

※4 ESET File Security for Linuxは、英語版プログラムでの提供となります。

※5 OSが推奨するシステム要件を満たす必要があります。

【必須事項】

- ・ 必要ソフトウェア(Kernelバージョン2.6.X、glibc 2.3.6または、それ以上のバージョン)
- ・ プログラムをご利用の際は、ライセンスキーファイルの読み込みが必要となります。

<ESET社について>

1992年に創設されたESETは、企業および個人向けのセキュリティソリューションを提供するグローバルプロバイダーであり、ISO9001:2000やISO27001など数多くの認証を取得しています。ESETは、プロアクティブなマルウェア検出技術のパイオニアであるとともに、この分野で業界をリードし続けています。ESET NOD32 Antivirusは、英国『Virus Bulletin』誌のVB100アワード最多受賞回数を記録しているほか、1998年の同テスト開始以来、「In the Wild」と呼ばれる実際に感染報告があるワームやウイルスを1つ残らず検出しています。日本国内においては、2012年2月にアスキー総合研究所が実施したウイルス対策ソフト総合満足度調査(※)で「常駐時の動作の軽さ」「セキュリティ性能」「サポート」「導入のしやすさ」などの項目でユーザーから高い評価を受け、総合満足度No.1の製品となりました。ESET NOD32 Antivirus、ESET Smart Security、ESET Cybersecurity for Macは1億ユーザー以上に利用されており、各方面から極めて高い評価を得ています。

ESETは、スロバキアのブラティスラバにグローバル本社を、米国のサンディエゴ、アルゼンチンのブエノスアイレス、シンガポールに地域流通拠点を構えています。また、ブラティスラバ、サンディエゴ、ブエノスアイレス、チェコ共和国のプラハ、ポーランドのクラクフ、カナダのモントリオール、ロシアのモスクワにマルウェア研究センターを置き、世界180か国にまたがる広範なパートナーネットワークを築いています。

(※) 出典元 <http://asciimw.jp/info/release/pdf/20120327.pdf>

ESET社ホームページ【 <http://www.eset.eu/home> 】

※ESET、ESET Smart Security、NOD32、ESET Cybersecurity、ESET File Security、ThreatSenseは、ESET, spol.s.r.o. の商標です。

※Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

※Macは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
※仕様は予告なく変更する場合があります。